

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高等学校のキャリア教育コーディネート事業
事業主体 (連絡先)	郷土愛プロジェクト (伊那市荒井3500-1 いなっせ3F 上伊那広域連合 地域振興課内)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,212,000円 (うち支援金: 969,000円)

事業内容

県教育委員会「夢に挑戦する学び」の具現に向けて、地域社会との連携を主とした「探究的な学び」の授業のコーディネートをやってきた。

【実施内容】

1. 伊那弥生ヶ丘高校2年生、伊那北高校1年生、上農高GLコース、辰野高校キャリアガイダンスへの授業支援(講師選定、校外学習支援、地域発信事業支援)
2. 各高等学校の課題別発表会への参加・サポート

【実施対象】

- 伊那弥生ヶ丘高校2年生 240名
伊那北高校1年生 240名
上農高校GLコース 150名
辰野高校普通科3年生(就職希望者) 60名

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 各高校の事業後のアンケートやまとめから、地域と関わることを通して「自分が変わった」「地域に出た学びがよかった」などの感想が、目標値8割を超えた。
 2. 各高校の講師を依頼した地域人も「高校生の考えに触れられてよかった」「高校生活すために自分も勉強した」など概ねよかったとの感想をもらった。
 3. 学校職員も、質の高い授業内容になったとの感想をもらった。
- 以上の結果から、この事業を通して3者が共に学びあう機会になり得ていると考察できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

1. キャリア教育の視点と地域に若者の人材不足の観点から、学生の地域に学ぶ機会を増やし、地域を知る、地域の人にふれる、地域に発信するなど、活動をより地域に根ざした内容にしている。
2. 高校教師には、キャリア教育の必要性を理解してもらうための「高校間キャリア教育担当者会」の実施等を行い、さまざまな情報共有を行う。
3. 学校の希望に応じた探究的な学びの充実だけでなく、生徒の希望に応じられるようにする。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【地域の魅力配信 = ドライブシアター】 【目標・ねらい】

地域で活躍するさまざまな分野の方々に会い、地域に目を向け、地域の課題を見出し、課題に向けた探究活動に取り組む。

※自己評価【A】

【理由】

継続2年目の活動であったが、本年度は、各高校が地域に出て活動することが増えたことと、生徒・職員・地域人3者から「やってよかった」という評価をいただいた。